

JAきたみらい

おひさま サタタ

2020



vol.205 **2**

はいっポーズ!

《置戸地区・北光》

野里^{さく}朔^{しゅうと}さんと甥っ子の秀斗^{しゅうと}くん

(紹介は2ページです)

特集

持っていないではすまされない。
今一度確認しよう運転免許



「どんど焼き」
～小正月
一年の無病息災を祈る～

季節の薫り



1月15日、小正月に北見市昭和地区でどんど焼きが行われました。

午前8時から神事を行った後、高さ3メートル以上に積み上げられた、お守り・しめ縄・しめ飾りなどの縁起物が2か所に分けられ、しめ縄のたいまつで火をつけ焚き上げが始まりました。

オレンジ色の炎が4メートルほどの高さまで燃え上がり、訪れた人たちは炎に手を合わせ、一年の無病息災を願いました。(辻本 均)



一年の無病息災を願い勢いよく燃え上がる炎

もくじ CONTENTS

- JA からのお知らせ……………10
- おひさまサラダクッキング……………20
「シミとセリのペンネ」
「畑の様子」
(揚げ焼き野菜の温サラダ)
- ほのぼの広場……………8
・きたみらい青年部
・記念の一枚
・ブリティウーマン
・わが家のアイドル
- 地域だより……………6
- 表紙紹介……………2
「いつまでも仲良く」
- 季節の薫り……………2
- 農作業事故……………4
「ゼロ」運動を目指し
持っていないでは
すまされない。
今一度確認しよう運転免許……………4

特集

農作業事故

「ゼロ」運動を目指し
持っていないでは
すまされない。
今一度確認しよう運転免許……………4

表紙紹介

いつまでも仲良く

2月2日、訓子府町で第41回さむさむまつりが行われました。今年は、雪不足の影響から規模を縮小した中での開催。路面が見えるほど、雪が少なく心配していましたが、この数日のまとまった雪で迎り一面雪景色となり、無事開催となりました。毎年、JAきたみらい青年部南支部も参加して、滑り台制作やカシューアイスの販売を行うなど、まつりを盛り上げていきましたが、今年は雪不足から滑り台制作を断念。当日のカシューアイスは天候にも恵まれ、家族連れや子ども達に大人気となり行列ができたのでした。

参加した青年部員の家族も多く来場されていたので、記念にと思い一枚撮らせて頂きました。野里朔くと甥っ子の秀斗くんは本当の兄弟に間違えるぐらい仲良しで、雪山で遊んでいるときも、朔くんを気に掛けながら遊んでいる秀斗くんが印象的でした。

二人の成長を見守るお父さんの智也さんは、「兄弟のようにいつまでも仲良く元気に育ってくれば」と楽しみに話してくれました。(大石 友和)



【ご家族紹介】
左から～お母さんの友里恵さん(32)、お父さんの智也さん(32)、長男の朔くん(1)
野里さんは乳牛130頭を飼育し、デントコーン18%と牧草43%を作付けしています。

農作業事故「ゼロ」運動に向けた取り組みとして、10月の広報誌と一緒に公道での農業機械の事故を防ぐリーフレットを配布しております。公道等を走行する場合、該当する免許がないと無免許運転となり、普通免許など全ての免許が取り消されてしまいます。実際に公道での追突事故も発生しており、公道等を走行の際に必要な免許は必ず取得しましょう。

大丈夫?今一度運転免許の確認を!!

乗用型農耕トラクタ
およびトレーラの法令区分!



- 乗用型農耕トラクタで「公道等を走行」する際に必要な運転免許は、最高速度と車体の大きさで決まります。
- 最高速度15km/h、全長4.7m、全幅1.7m、全高2.0m（安全キャブ・フレーム等により2.0mを超える場合は2.8m）を1つでも上回るもの（作業機を装着した場合はこれも含めた大きさ）は「大型特殊自動車免許」が必要です。
- 車両総重量が750kgを超えるトレーラをけん引する場合は、さらに「けん引免許」が必要です。
- 最高速度35km/h未満の乗用型農耕トラクタは、道路運送車両法上は小型特殊自動車に区分され、「車検・自賠責保険の対象外」となります（任意保険への加入を推奨します）。
- 乗用型農耕トラクタで「公道走行」するには、安全上の構造、装置（車体の大きさ、重量、タイヤ、ブレーキ、灯火類等）や環境面（排出ガス等）を含む各種性能等が、道路運送車両法の「保安基準に適合」していなければなりません。
- 作業機を直接装着した乗用型農耕トラクタは、保安基準緩和認定の条件等を満たした場合に限って公道走行することが可能です。公道走行に当たっては、灯火器類（前照灯、車幅灯、尾灯、後部反射器、制動灯、後退灯、方向指示器）、全幅（作業機含む）、後写鏡、安定性（安定傾斜角度）等について、充分ご確認ください。また、後方車両が気付きやすいよう、低速車マークや反射テープを取り付ける等の安全対策を徹底してください。

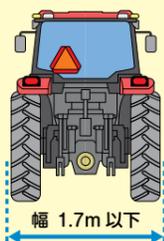
※ 該当する免許がないと「無免許運転」となり、普通免許など全ての免許が取り消されてしまいます! 実際にも普通免許だけでは足りない場合が多いので、大型特殊、けん引など、必要な免許は必ず取得しましょう!

「公道等を走行」する際に必要な運転免許

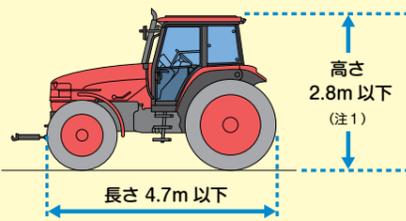
Q どのような場合に大型特殊免許が必要なのですか?

A 全長 4.7m、全幅 1.7m、全高 2.0m（作業機を含む。全高は、安全キャブ・フレーム等により2.0mを超える場合は2.8m）、最高速度 15km/hのいずれか1つでも超える場合には大型特殊免許が必要です。

作業機装着前



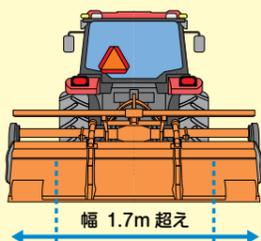
小型特殊・普通免許で運転可能



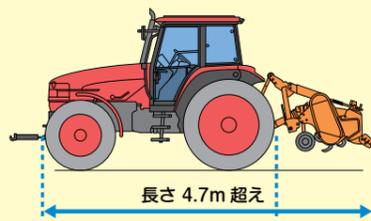
最高速度15km/h以下

注1：安全キャブ・フレーム等により2.0mを超える場合

作業機装着後



新たに大型特殊免許が必要



※ 作業機を装着した場合は、保安基準緩和認定の条件等を満たしていなければ公道走行できません。

乗用型農耕トラクタおよびトレーラの法令区分表

道路交通法(警察庁)上の乗用型農耕トラクタの区分

区分	小型特殊自動車	大型特殊自動車
最高速度	15km/h以下	
車体の大きさ (作業機装着時はこれも含む)	全長	4.7m以下
	全幅	1.7m以下
	全高	2.0m以下 (注1)
運転免許	小型特殊自動車免許 普通自動車免許等の上位免許	大型特殊自動車免許

注1：ヘッドガード、安全キャブ、安全フレーム、その他これらに類する装置が備えられている自動車で、当該装置を除いた部分の高さが2.0m以下のものは2.8m以下です。

道路運送車両法(国交省)上の乗用型農耕トラクタの区分

区分	小型特殊自動車	大型特殊自動車
最高速度	35km/h未満	35km/h以上
車体の大きさ (注3)	全長	制限なし
	全幅	制限なし
	全高	制限なし
車検	不要	必要
自賠責保険	不可 (任意保険加入推奨)	必要
ナンバープレート	市町村役場で交付 (注2)	運輸支局で交付
地方税 (地方税法：総務省)	軽自動車税	固定資産税

注2：公道走行の有無に関わらず、当該自動車を所有する場合は必要です。
注3：自動車種別の全長、全幅、全高は、いずれの場合でも保安基準の最大寸法は満たす必要があります。

道路運送車両法(国交省)上のトレーラ(被けん引自動車)の区分

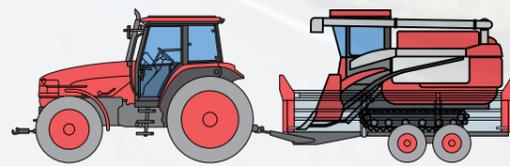
区分	小型自動車	普通自動車
車体の大きさ (注3)	全長	4.7m以下
	全幅	1.7m以下
	全高	2.0m以下
該当するトレーラの例	小型農用トレーラ	大型サイレージトレーラ コンバイントレーラ等
車検・自賠責保険		必要
ナンバープレート		運輸支局で交付
地方税 (地方税法：総務省)	自動車税 (被けん引小型)	自動車税 (被けん引普通)
けん引免許 (道路交通法：警察庁)		車両総重量が750kg以下の場合には不要

注3：自動車種別の全長、全幅、全高は、いずれの場合でも保安基準の最大寸法は満たす必要があります。

トレーラをけん引した農耕トラクタが「公道走行」に必要な運転免許

Q 農耕トラクタでトレーラをけん引する場合、どのような運転免許が必要ですか?

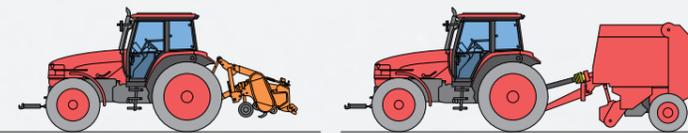
A 道路交通法上の小型特殊自動車の規格以外の農耕トラクタには「大型特殊免許」が必要です。さらに、車両総重量が750kgを超えるトレーラをけん引する場合は、「普通免許」や「大型特殊免許」(大きさ等による)とともに、「けん引免許」も必要です。



「公道走行」ができる作業機のタイプ (条件を満たした場合に限る)

Q 作業機をけん引する場合も公道走行ができますか?

A 公道走行できるのは条件を満たした直装タイプだけです。けん引タイプは現状では公道走行ができません。



直装タイプ
条件を満たせば公道走行ができます

けん引タイプ
現状では公道走行ができません

温根湯温泉ゆめ広場で1月25日、「おんねゆ温泉郷雪物語2020」が開催されました。同イベントは冬期間の夜の温泉街を盛り上げようと企画され、昨年12月1日から3月中旬までイルミネーションが点灯されています。

また、1月11日から2月15日までの毎週土曜日は花火が打ち上げられ、いずれの日程も午後7時30分から露店やアトラクションなどのイベントが開催されています。さらに2月末には塩別つるつる温泉付近に会場を移して花火が打ち上げられる予定です。

会場ではうどんや中華まんなどの販売や留青太鼓による和太鼓演奏、お菓子まき、最後には花火が打ち上げられ、来場者は大いに盛り上がっていました。

また、るべし白花豆くらぶ（森谷裕美代表）も出店し、白花豆を使ったプリンやムース、お汁粉が販売され、来場者が買い求めて大盛況でした。（菊池 光祐）



▲白花豆ムースを買う来場者

西地域 温根湯 **おんねゆ温泉郷 雪物語2020開催**
 ~るべし白花豆くらぶも出店~



▲クッキーにアイシングをのせていく部員たち

東地域 上常呂 **冬期研修会 開催!!**
 ~アイシングクッキー作り~

1月16日、上ところコミュニティプラザにて、女性部上常呂支部（溝手範子支部長）が冬期研修会を開催しました。今年は、JSAアイシングクッキー認定講師の石井沙紀氏に講師を依頼し、アイシングクッキー作りを行いました。

参加した部員11名全員がアイシングクッキーを作るのは初めてだったので種類や特徴、テクニックなど基礎から教わり、約2時間で6枚のクッキーを作りました。最初はまっすぐなラインを引くのも難しかったですが、だんだんとコツをつかみ、細かい模様も描けるようになりました。

また、「クッキー作りにも個性が出て面白いね！」などと会話も弾み、和やかな雰囲気での研修会となりました。研修会終了後は、懇親会を行いさらに親睦を深め、来年度の活動についても話し合いました。（芋毛 鈴奈）



地 域 だ よ り



JAきたみらいフレッシュミズ東支部（安齊里実支部長）は1月20日、ほくでんキタキッチンにて新年研修会・懇親会を行い、会員11名が参加しました。

講師には野菜ソムリエの森川寿恵氏を招き、事前に会員より希望があった鶏肉を使用したメイン料理に「ミラノ風チキンカツレツ」、おかず「レンコンのきんぴら」、今流行の「簡単バスケットケーキ」など計6品を作り上げました。

調理中は3グループに分かれ、講師からアドバイスを受けながら手慣れた包丁さばきで次々と料理を完成させました。盛り付けはオシャレに、そして洗い物が少なくなるワンプレート皿を使用し、小鉢やワックスペーパーをおかずを並べ、カフェ風に仕上げました。

作った料理は昼食として美味しくいただき、参加会員からは「会話しながら料理ができて楽しかった。簡単に作れたおかずは家でも作りたい」と好評の新年研修会になりました。

その後懇親会では、市内居酒屋にて脱退される会員の送別会を実施し、今年度最後の研修会を終えました。（森谷 弥生）

東地域 北見 上常呂 端野 **カフェ風 ワンプレート料理づくり**
 ~JAきたみらいフレッシュミズ東支部~



▲森川寿恵氏（後列左端）と参加会員の皆さん

南地域 置戸 **豆料理の 幅広がり満喫**
 ~JAきたみらい女性部置戸支部~



▲料理の説明を聞く部員

JAきたみらい女性部置戸支部（中澤ひさ子支部長）は、1月16日に置戸町の中央公民館で「豆料理講習会」を開催し、部員他15名が参加しました。

地場産食材を使ったレパートリーを増やそうと企画し、当日は講師として訓子府町の畑作農家で元料理人の石川修氏を招き、大豆や白花豆など4種類の豆を使い簡単に調理できる「黒千石大豆入りごはん」や「白花豆のクリーム煮」など計4品を、説明を交えながら紹介しました。

当JA女性部置戸支部の嘉藤常子副支部長は、「簡単で幅広く応用できるので、豆料理としてレシピの一つに加え挑戦してみたい」と話してくれました。（大石 友和）



きたみらい
青年部



青年部活動に
参加し交流を

置戸地区・川南
遠藤 たいと 泰斗さん(32歳)

- 最近、ハマっていること
格闘技観戦
- 農業の魅力とは
毎年、気候条件が変動する中で、努力すれば努力した分だけ、結果が得られた時の達成感です。
- 青年部活動での一番の思い出は
青年部の仲間と行った海外研修（ドイツ、フランス）です。特に世界最大の農業機械展「アグリテクニカ」が印象に残っていて、最先端の機械が見学でき、規模の大きさに圧倒されました。いつかまた行ってみたいです。
- 青年部活動への抱負
今年、南支部の支部長を務めることになりました。部員のみなさんには、本部・支部関係なく積極的に行事へ参加し交流を深めてもらいたいです。年齢が近い青年部だからこそやる悩みや仕事の話など、活動を通して交流を図ってほしいです。
1年間、みなさん宜しくお願いします。

今回は青年部南支部の遠藤泰斗支部長に登場いただきました。
(大石 友和)

Pretty Woman
ウーマン



「活動を通して
自分自身の刺激に」

置戸地区・豊住
中澤 ひさ子さん(61歳)

今回は女性部置戸支部の中澤支部長に登場いただきました。
(菊池 光祐)

◆旦那さんとの出会い、結婚に至るまで
夫と結婚する前は、置戸町役場で働いていました。当時、置戸町の青年活動を熱心にやっていた夫が私の職場に来ることが多く、その時に会いました。最初はお付き合いするとは思っていませんでしたが、夫の人柄に惹かれお付き合いをするようになりました。3年ほどの交際期間を経て21歳で結婚をし、4人の子宝に恵まれました。

◆趣味は？
趣味は、蕎麦打ち、リズム体操、映画鑑賞です。年末に食べる年越し蕎麦を自分で打ったり、公民館で行われる行事で蕎麦を地域の方々に振る舞ったりしています。また、健康の為に地域で行われているリズム体操を以前から行っています。最近は忙しく1年間くらい行けていませんが、汗を流しながら運動をすると気持ちがいいですね！

◆ご自身はどんな性格だと思いますか？
明るい性格だと思います。特に人とおしゃべりするのが好きで、話し始めると時間を忘れるほど夢中になってしまいます。

◆女性部活動で楽しいこと、今後の抱負は？
色々な人と出会えること、活動を通して自分自身の刺激になることが最大の魅力だと思います。農業女性としてみんな同じ立場ですので、すぐに打ち解けることができます。ぜひ多くの方に女性部に入ってほしい、一緒に活動をしていきたいと思っていますので、興味がある方は加入してみてください！

わが家のアイドル

9ヶ月で畑を歩いて遊んでいたよ!!



相内地区・西相内
菅野 さくや 朔弥くん
(1歳3ヶ月)

菅野家を訪れると、ママにべったりととっても甘えん坊の朔弥くんが登場！収穫時期に9ヶ月を迎えた朔弥くんは、畑の中を歩き歩行練習。そのおかげか、脚力がついたようで9ヶ月検診では1人だけ歩いていたそうです！
大好物は白米で、おかわりが日常！お姉ちゃんよりもモリモリ食べるほど、食事が大好きです。
最近成長したことは、「パパ、ママ、ニャンニャン」と少しずつ言葉ができるようになり、お母さんの美保さんが「お姉ちゃんに渡してきて」と朔弥くんに伝えると、渡しに行くよう言葉もだんだんと理解できるようになってきました。
普段は2人のお姉ちゃんとあまり遊ばないようですが、たまにおもちゃを取っては怒られ落ち込む朔弥くん。ショボンとしますが、すぐにトミカや車のおもちゃで遊び、取材中も玄関で靴をだし外に遊びに行きたい様子で元気一杯です☆
そんな朔弥くんにお母さんは「強く、逞しく、大きくなってほしい」と話してくれました。

朔弥くんは菅野弘幸さん・美保さん夫妻のお子さんです。
(森谷 弥生)

記念の一枚



▲平山から望むニセイカウシュッペ山

絶景の穂高連峰を
登りたい

相内地区・豊田
川岸 かずみ 一三さん
(63歳)



20年ほど前に登った仁頃山を皮切りに山に魅せられて登山を始めました。
夏は農作業の合間をみて気に入った山に登ります。山に登り切った時の爽快感と見晴らしの良い景色を見ると心身ともにリフレッシュできます。
冬山登山では、いつどんな天候になるか十分に配慮し登ります。天候に左右されるのは農家も同じかな？ 写真は、10年前奥白滝の平山での一枚で、3名で登りました。
家族で行った海外旅行では、ハワイ島のマウナケア山で星空を鑑賞し、雲海から見る朝日に大変感動しました。
今年は、オーロラを見に行く計画をしています。国内では、絶景の穂高連峰の剣岳に登りたいと思います。
(辻本 均)

INFORMATION

JAきたみらい青年部本部 北見農林水産観光シンポジウムに参加



▲第一部の講演を行った、一般社団法人日本ファームステイ協会事務局長の大野氏

JAきたみらい青年部（石原正啓部長）は1月22日、市内のホテル黒部で開催された、北見農林水産観光シンポジウムに、本部役員と次期役員候補の11名で参加しました。シンポジウムには関係者、一般消費者を含め78名が参加し、熱心に耳を傾けていました。

シンポジウムは二部構成で行われ、第一部の講演1「一次産業を活かした、稼ぐ観光モデル」では一般社団法人日本ファームステイ協会事務局長の大野氏が講演。講演2では農観連携ビジネス創出推進協議会事務局の松本氏が講演され、地域や日本、世界における農泊のツーリズムの紹介やそれぞれの農泊における工夫を話されました。

その後、第二部ではパネルディスカッションを行い、きたみらい青年部からは有馬監事がパネリストとして登壇し、「一次産業を基盤とした、稼ぐ地域観光」というタイトルでディスカッションを行いました。有馬監事は、農業の現状と課題の説明と農業PRにおける農泊の可能性への期待を述べ、さらには他業種の方に農業の発信を行いました。

今後、北見市農泊推進協議会において協議を重ね、事業の実現を目指していくこととなります。



▲第二部のパネルディスカッションのパネリストの皆さん



▲遠藤氏の演奏に耳を傾ける参加者

酪農女性の昼食交流会を開催しました！

きたみらい酪農振興協議会は1月16日、北見プラザホテルで酪農業を営む女性の8地区昼食交流会を開催し、17名の方が参加しました。

この日は、北見市大正で農業を営みながら、音楽を通して農業の魅力を伝える講演など、様々な活動をしている遠藤正人氏のギター演奏会が行われました。参加者は遠藤氏が奏でる音色に熱心に耳を傾け、ギターの素敵な音に心がリフレッシュされた様子でした。その後、遠藤氏を交えて昼食会が行われました。普段なかなか接する機会のない他地区の方と交流を深め、とても貴重な時間を過ごしました。交流会の最後にはビンゴ大会が行われ、大いに盛り上がりました。



▲ビンゴ大会の様子



▲大田市場視察の様子

初日は東京都大田区にある大田市場を視察しました。大田市場は青果部・花き部で日本一の取り扱い規模を誇っており、当JAからも玉ねぎや馬鈴しょを出荷しています。市場内見学では、野菜や果物の卸売場や積込場を回り、きたみらい産の玉ねぎや馬鈴しょなどの状態を確認してききました。その後、青果物の現状や今後の課題などについて説明を受けました。



▲輸入品について学ぶ参加者

2日目の午前中は、横浜市にある横浜輸入倉庫を視察しました。湾岸労働組合の担当者の方に案内を依頼し、輸入品の保管・輸入の実態について説明していただきました。初めに、台風の影響で破損したというテナント倉庫内を見学。テナント倉庫内に野積にされている農産物を見て、臭いや色、保存状態の悪さに参加者は衝撃を受けました。その後、湾岸労働組合の会議室に移動し、「日本における輸入農産物の現状と課題」について学びました。日本に入ってくる輸入品のほんの一部しか検査所で現物検査されていなく残りは書類のみで判断されていると聞き、輸入品の危険性を改めて実感しました。そのほかにも遺伝子組み換えの原料を使った製品や外国で使用されていた成長促進剤などさまざまな輸入品の危険性について学びました。担当者的には、「日本の農業をより発展させるためには、日本の農業をより発展させる自給率を上げ、輸入品を少しでも減らしていくべきだ。生産者の方々は安全で新鮮な農産物を作り続けていただき、輸入品との差別化をはかってほしい」と強く訴えていました。

午後は、枠にとられない自由な発想を養うことを目的に、カップヌードルミュージアム横浜を訪れました。世界初のインスタントラーメン、カップヌードルを発明した日清食品創設者・安藤百福の「創造的 thinker」を数々の展示を通して体感しました。その後5460通りある組み合わせの中からオリジナルのカップヌードルを作りました。

に、台風の影響で破損したというテナント倉庫内を見学。テナント倉庫内に野積にされている農産物を見て、臭いや色、保存状態の悪さに参加者は衝撃を受けました。その後、湾岸労働組合の会議室に移動し、「日本における輸入農産物の現状と課題」について学びました。日本に入ってくる輸入品のほんの一部しか検査所で現物検査されていなく残りは書類のみで判断されていると聞き、輸入品の危険性を改めて実感しました。そのほかにも遺伝子組み換えの原料を使った製品や外国で使用されていた成長促進剤などさまざまな輸入品の危険性について学びました。担当者的には、「日本の農業をより発展させるためには、日本の農業をより発展させる自給率を上げ、輸入品を少しでも減らしていくべきだ。生産者の方々は安全で新鮮な農産物を作り続けていただき、輸入品との差別化をはかってほしい」と強く訴えていました。

視察研修を終えて

青年部、女性部、フレッシュミズ合同で東京と横浜で研修を行ってきました。

視察先ではきたみらい産の農産物に期待されていることを感じ、安定的に供給することが大切なのだと改めて感じました。また、三組織合同の視察ということもあり、違う組織だからこそ出る質問や意見があり、より研修の意義が深まりました。

さらに懇親会の時には、普段あまり聞けないそれぞれの組織の悩みや課題を共有することができ、大変有意義な時間となりました。

関係各所のご高配により、本事業を実施して頂いたことに感謝致します。この視察研修では各組織との繋がりが強くなり、組織活動においても有益な経験ができることから今後もこのような研修の企画、実施の継続をよろしくお願い致します。

団長 上杉 勇二



▲カップヌードルミュージアム横浜にて

青年部・女性部・フレッシュミズ 三組織合同視察研修を実施

JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズは、12月10日から12日の3日間、三組織合同視察研修を東京都と神奈川県にて実施し、三組織の本部役員6名が参加しましたのでご報告致します。

INFORMATION

北見地区農業試験報告・農産技術情報交換会を開催



▲リモートセンシング技術について説明する志賀特任技監

北見地区農業振興連絡協議会は1月17日、今年度の北見地区農業試験報告・農産技術情報交換会を北見市のJAきたみらいセンター事務所で開催しました。北海道指導農業士、農業士、網走農業改良普及センター、生産者組織代表、JA職員ら68名が出席し、主要基幹作物である水稲、玉ねぎ、てん菜など5課題の高収量実現に向けた試験結果を報告し、スマート農業におけるリモートセンシング技術についても情報交換を行いました。

「スマート農業におけるリモートセンシング」について説明をしたホクレン資材事業本部の志賀特任技監は、「農業技術と先端技術を掛け合わせたスマート農業の活用によって、労働力不足の軽減や経営規模拡大が可能となり、中でも、作物や圃場の状態を遠隔で計測できるリモートセンシング技術は、スマート農業において重要な要素を持ち、より身近な技術として活用していくことが重要である。最近では、生育に合わせて施肥量を変える可変施肥技術が道内でも畑作物を対象に広がりを見せている」と説明しました。



▲挨拶をする大坪専務



JAきたみらいと、きたみらいもち米振興会は12月25日、当JA管内の北見市、置戸町、訓子府町の1市2町を訪れ、地場産もち米で作った鏡餅を贈呈しました。鏡餅は当JAで生産された令和元年産の「きたゆきもち」を使用し、二段重ねで重量約6kgになります。当日訪れた当JA役員と同振興会

役員より、各行政の首長へ手渡ししました。置戸町では、当JAの大坪広則専務が「今年も無事に届けることができ、苦労した甲斐があった。令和の初めの年としては、とてもいいスタートが切れた」と話しました。鏡餅を受け取った井上久男町長は、「役場の玄関先に飾り、訪れる人たちに

見てもらいたい。今年の農産物は比較的どれも良いと聞く。来年も期待しています」と述べられました。令和元年産は119戸がもち米を作付けし、管内作付面積は約700ha弱、収量は10ha当たり601kgを確保できました。贈呈した鏡餅は各行政の玄関口に飾られ、鏡開きに振る舞われました。

「きたゆきもち」の鏡餅贈呈 地場産もち米で地元を盛り上げる

- ①北見市役所にて
(左から) 齊藤常務、大坪専務、沼崎もち米振興会会長、辻市長、畑中もち米振興会副会長
- ②訓子府町役場にて
(前列左から) 菊池町長、島貫もち米振興会副会長、大坪専務、藤森理事
(後列左から) 齊藤理事、小野理事、齊藤常務
- ③置戸町役場にて
(前列左から) 大坪専務、東海林理事、井上町長
(後列左から) 溝井理事、齊藤常務

『daywork』(1日バイト専用アプリ)活用のご案内

(1) 『daywork』とは

農繁期(短期間)の労働力確保に向けた新たな取り組みとして、パートやアルバイト従業員を必要とする組合員(=求人農家)と、農家で働いてみたい求職就農者(=地域住民等)とを、スマートフォンアプリ『daywork』を介して無料でマッチングを行うサービスです。



(2) 利用(登録)するまでの流れ

- ①利用希望者説明会(3月3日予定)で利用申込書を配布します。
- ②申込書提出後、アカウントを配布しますので登録作業を行って下さい。3月下旬より求人情報を公開し、利用開始となります。
- ③4月7日には地域住民向け「農家のオシゴト説明会 in きたみらい(仮称)」を開催し、求人情報を紹介します。

(3) 利用の条件

- ①農作業の請負・派遣とは異なり、専用アプリを介して求人農家と求職就農者を無料で紹介するものです。よって、求人農家が求職就農者と直接雇用する形となります。
- ②賃金や手当等の雇用条件は求人農家が設定します。また、労災保険の加入が前提条件となります。
- ③求職就農者の多くは初めて農作業に従事する方です。求職就農者側に沿った農作業環境の配慮をお願いします。特に作業場所及びその周辺には必ず仮設トイレ等の設置が必要となります。

INFORMATION

JAと農業

監修=JCA (日本協同組合連合機構)

農協法と農業協同組合

戦後、地主から小作人へ農地が解放され、多くの農民は自ら所有する農地で農業を営む自作農となりました。こうした農地改革の成果を守るため、「農業者の経済的・社会的地位の向上」を掲げる農業協同組合法(農協法)が1947年11月に公布され、農協(JA)が全国各地に設立されました。その際に、農協の前身である農業会や産業組合では農民以外も構成員となり事業を利用できたことなどから、農協においても農民以外の地域住民に准組員として加入の途を開きました。

これまで農協法は度々改正されてきましたが、2015年の改正では、農業の成長産業化を目的とするいわゆる「農協改革」を具体化するための見直しが行われました。JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」等を目指す自己改革に取り組んでいます。また、准組員についてはこうした目標を後押しするパートナーとして位置づけ、食や農に関わるさまざまな参加の場づくりを進めています。

【改正農協法】(かいせいのうきょうほう)<2015>
JAが「自由な経済活動を行い、農業所得の向上に全力投球できるようにする」ことを目的としており、農業所得の増大へ最大限配慮することや理事の過半数を認定農業者等にすることなどが定められました。准組員の事業利用規制については、政府が施行日から5年間調査等を行った上で結論を出すことが付則に明記されました。

1900年 「産業組合法」
ドイツの「産業および経済協同組合法」が基となっている。

1947年 「農業協同組合法」
「農業生産力の増進および農業者の経済的社会的地位の向上」を目指す。 **現在の「JA」の誕生**

1992年 愛称が「JA」に決定
農協マーク JAマークへ

2015年 農協法改正
・「農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない」ことが明記された。
・理事等構成の変更、中央会制度の廃止などが盛り込まれた。
・准組員の事業利用規制が検討事項に。
2016年の施行後5年間の調査、結論

耕そう、大地と地域の未来。

各種健診・検診に対する助成のご案内

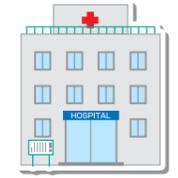
JAきたみらいでは、組合員の健康増進を図るため下記の助成を行っております。詳しい利用方法につきましては、担い手グループまでお問い合わせください。

- 助成対象範囲：①正組員、②共に農業に従事する家族（年齢制限はありません）
- 助成内容（上限）

人間ドック	・厚生病院（遠軽・網走）…………… 15,000円 ・上記以外の病院…………… 5,000円
巡回ドック	・JA事務所でを行うもの…………… 7,500円
脳ドック	・単独検査（人間ドックと併用しない）のみ…………… 5,000円 【病院指定なし】
各種がん検診	・行政の検診のみ…………… 各1,000円 【胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん】

※これまで助成対象年齢を「30歳以上」としておりましたが、「令和元年度夏期地区別懇談会Q&A」でもお示した通り、この年齢制限については撤廃しております。
※受診料が助成金額を下回る場合には受診料が上限となります
※各種助成の利用には領収証の提出が必要です

お問い合わせ先：JAきたみらい担い手グループ（☎0157-24-2145）



人・組織・地域の幸せづくりをめざして

～月刊情報誌「家の光」「地上」「ちゃぐりん」～

家の光協会では、日本の食と農に対する関心が高まるなかで、日本農業と国産農畜産物へのファンづくりに向けた企画の充実を図り、協同組合への理解促進のための取り組みを強化し、月刊誌をはじめ各種雑誌・書籍を発行しています。

今回、月刊誌『家の光』を始め様々な雑誌を発行していることにスポットをあて紹介したいと思います。

◆『家の光』ってどんな雑誌？

・「家の光」は、“協同の心”を育む家庭雑誌として、1915年にJA全中の前身である産業組合中央会から創刊されました。「食と農」「暮らし」「協同」「家族」という4つの柱をテーマに、JA組員をはじめ地域の人々の暮らしに役立つ情報を掲載しています。

・協同組合の大切さやその役割を伝え、JAへの結集力アップにつながる企画、食と農を守り、農家・農村だからこそできる魅力的な暮らしを企画し、届けています。



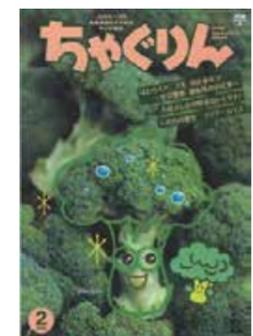
◆『地上』ってどんな雑誌？

・「地上」は、地域農業の担い手やJA青年部員、JA役職員などを対象に、1947年に創刊されました。日本の食料・農業・農村をめぐる情勢や、社会・経済の動向を反映した企画で、農協運動に参加・参画する仲間づくり、豊かな地域づくりに役立つ記事を掲載しています。



◆『ちゃぐりん』ってどんな雑誌？

・1964年に農家の子供向け月刊誌として「こども家の光」を創刊されました。その後、1993年に誌名を変更し、英語でChild（子ども）、Agriculture（農業）、Green（みどり・自然）を合わせた「ちゃぐりん」が生まれました。子どもたちが食べ物や農業の大切さに気づき、自然や生き物を愛し、思いやりや助け合う心を育む記事を掲載しています。



■購読に関するお問い合わせは、担い手グループまでご連絡下さい。

【問い合わせ先】TEL：0157-24-2145

INFORMATION

第12回 理事会報告

1月28日、午前9時30分より第12回定例理事会が開催され、報告事項7件、決議事項16件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】**
- ①内部監査（コンプライアンス倫理監査、無通告）報告について
 - ②組合員状況報告について
 - ③財務状況報告について
 - ④令和元年度クミカン精算状況について
 - ⑤令和元年度対策農家の収支実績報告について
 - ⑥令和元年度ジャガイモシストセンチュウ対策の取組みについて
 - ⑦農作業事故「ゼロ」運動 農作業安全コンクールの募集結果について
- 【決議事項】**
- ①出資減口について
 - ②固定資産の処分について
 - ③定款の改正について
 - ④新規の外部出資金について
 - ⑤減損会計による減損額について
 - ⑥期末手当の支給について
 - ⑦令和3年度職員採用計画について
 - ⑧令和2年度理事に対する資金の貸付について
 - ⑨令和2年度信用供与等の限度額設定及び貸付金利率の最高限度について
 - ⑩令和2年度1億円を超える信用の供与等の設定について
 - ⑪令和2年度理事に対するクミカン貸越極度額の設定について
 - ⑫令和2年度監査計画書（案）（内部監査）について
 - ⑬R2年度野菜振興対策について
 - ⑭R2年度畜産部門の奨励対策について
 - ⑮令和2年度事業収支計画（案）について
 - ⑯冬期地区別懇談会提出資料内容について

令和2年 オホーツク農業新技術セミナー

北見農業試験場などが研究開発した新品種や新技術を速やかに公表し、オホーツク地域の多くの方々に活用していただくため、次のとおり『令和2年オホーツク農業新技術セミナー』を開催します。

新品種や新技術のほか、地域におけるトピックスも紹介します。
どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

- 日時 令和2年2月26日（水）
午後1時～4時
 - 場所 北見市端野町公民館
グリーンホール
北見市端野町二区471番地11
☎ 0157-56-2515
 - 入場料 無料
- 【お問い合わせ先】**
北海道立総合研究機構
北見農業試験場 ☎ 0157-47-2146

低温殺菌牛乳

きたみらい牛乳を飲もう！



生乳100%使用



牛乳本来の味を大切にするために、ホモジナイズ（脂肪球の分解）を最小限にする事で、ふくよかな風味が残り、まろやかなコクがある美味しい牛乳に仕上がっています。殺菌方法も低温長時間殺菌法（CTLT：65℃で30分間）を採用することで美味しさを損なうことが無い製法で製造しております。

きたみらい牛乳（瓶180ml）

- 【販売店】** *各店舗で週に入荷できる数量に限りがありますので、早めにお買い求め下さい。
- エコープ訓子府店 エコープ置戸店 エコープ留辺薬店
 - エコープ温根湯店 エコープ端野店 おけと勝山温泉ゆうゆ
 - 塩別つるつる温泉 北見湯元のつけ乃湯

各生産者組織の会議・研修会・総会の際には、『きたみらい牛乳』の活用を宜しくお願い致します。

JAきたみらい畜産部

電話 0157(47)4829
FAX 0157(47)4713



お得な！車検割引き！

期間：令和3年1月31日までのご予約で！
JAで購入した軽トラから最大14,000円割引き

- ①車検利用特典
JA車検を利用頂いた方に、もれなく燃料給油券を進呈
当JA給油所で使える **1,000円分進呈**
- ②早期予約割引
入庫予定日の2ヶ月以上前にご予約を頂くと
車検料金 **1,000円割引(税込)**
- ③JA共済セット割引
当JAの自賠責共済と自動車共済をセット加入されるお車は
車検料金 **2,000円割引(税込)**
- ④新規利用割引
JA車検を初めて利用（新規入庫）されるお車は
車検料金 **3,000円割引(税込)**
- ⑤JA購入割引
当JAから車を購入後の第1回目の車検を利用されると
車検料金 **3,000円割引(税込)**
- ⑥営農用軽トラ割引(正組合員限定)
当JAの組合員様の軽トラック・軽バン（40tバ）の車検を
車検料金 **5,000円割引(税込)**

●キャンペーン対象は、軽自動車から大型車両（大型特殊含む）の車検受検車が対象となります。
●二輪自動車（オートバイ）および大型特殊車両については「①車検利用特典のみ対象（②～⑥は対象外）」とさせていただきますので予めご了承ください。
●詳細については、整備工場スタッフにお尋ね下さい。

お問い合わせは・・・ 農機自動車グループ

JAきたみらい車輛整備工場
〒099-1436 常呂郡訓子府町大町103番地 Tel 0157-47-4820 Fax 0157-47-3411

あなたの愛車を大切に、安心して永くお乗りいただくために！

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



1月号まちがいさがしの当選者

1月号のクロスワードの答えは「エ・キ・デ・ン」でした。正解者31名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・井上真由加さま (北見) ・西端 恒希さま (北見)
- ・鎌口 幹雄さま (上常呂) ・佐藤 房江さま (端野)
- ・荒 えみ子さま (留辺蘂) ・奥山 宏美さま (置戸)
- ・河野満理奈さま (置戸) ・稲辺 暖土さま (訓子府)
- ・杉田 重則さま (訓子府) ・宮本 卓也さま (訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「オリジナル商品詰め合わせセット」をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、JAきたみらいの「玉ねぎと牛すじのカレー」2箱をプレゼント致します。

1 年はインフルエンザにやられたので、来年は予防接種ぜひ受けたいです…。

(置戸地区 河野 満理奈さん)

今年のインフルエンザは予防接種が始まる前に流行しました。

毎日、外から帰ってきたらうがい手洗いを忘れずに！

2 シタブルライフを楽しみに待っています！

(訓子府地区 島貴 渉さん)

ベジタブルライフ、1月号は「ニラ」でした。「ニラ」は何で食べるのが好きですか？私は「レバニラ炒め」ですね！

2 020年も良い1年になりますように。

(端野地区 小林 莉子さん)

2019年、農作物はととてもよかった年でしたね！

2020年、どんな年になるか楽しみですですね！

3 クロスワードパズル楽しく解きました。難易度を高くすると、家族みんなで協力して解くようになると思うので、より楽しめるかもしれません。

(訓子府地区 昆野 将之さん)

クロスワードパズルを楽しんでいただきありがとうございます。次回はもっと難しくしたいと思います！

VOICE 読者の声



シニア野菜ソムリエ KAORUの

ベジタブルライフ

イラスト：小林祐美子

グリーンピース

～春を楽しむ未熟なお豆～

グリーンピースのプロフィール

- 【分類】マメ科エンドウ属
- 【原産地】中央アジア～中近東
- 【おいしい時期(旬)】春(1～6月)
- 【主な栄養成分】タンパク質、糖質、食物繊維、ビタミンB群・C、カリウムなど

見分け方

鮮やかな緑色
さや付きを運ぼう
さやから出すと乾燥して日持ちしない

皮が薄くて上品な風味と甘い一般的なグリーンピースより粒が大きいよ

豆の粒がふっくらとそろっている
丸くて張りがある

さやは食べずに中の豆だけを食用とする
ふっくらとしたさやの中には豆が並んで、1個前後入っている

紀州うずし

保存方法

乾燥に強い
保存袋などに入れて野菜室へ

生は鮮度が落ちやすいのですぐに食べない場合、塩ゆでして冷凍保存がお勧め

グリーンピースのトカラ

バランス良くさまざまな栄養素を含む

- ミネラル：カルシウム、亜鉛、銅、マンガン、鉄
- ビタミン：B1・B2・B6・C、パントテン酸

食物繊維が豊富
野菜類の中でトップクラスの不溶性食物繊維も多く含まれ便秘の改善などに効果が期待できる

定番 豆ご飯
豊富に含まれるビタミンB群がご飯など炭水化物の代謝を高めるため、効率的なエネルギー供給が可能

楽しみ方・食べ方のコツ



おいしいゆで方

アチコとはじけるような食感を楽しもう

1. さやから豆を取り出す
2. 大きめの鍋を使い、沸騰したたっ次りの湯に塩を少し加えてゆでる3～4分程度
3. 塩を入ると鮮やかに発色して甘さを引き立てる
4. 火を止める。粗熱が取れるまでゆで汁の中で冷ます
5. ※ゆで汁ごと保存容器に移して冷蔵庫で保存する

冷まし方のポイント

翡翠(なすい)のような鮮やかな仕上がりが理想的。ゆで汁ごと取り出すとシワシワに

水を細く流し入れて鍋全体を徐々に冷やす。急激な温度変化を与えない

ご飯を炊くときなどにさやも一緒に入れると香りや風味が増す

ゆでる際にだしを使ってご飯に混ぜるだけで手軽な豆ご飯に

そのまま炊き込んだりスープにすると、栄養成分も無駄なく摂取できる

生鮮物の利用
風味と色彩を生かしてご飯と一緒に炊き込む。パター煮にして炒めたり、バター煮にして肉料理の付け合わせに

乾物(乾豆)の利用
川豆や煮豆など砂糖で甘く煮る。うぐいす豆

グリーンピースのじみツ

季節を感じさせる爽やかな色と香り、ほのかな甘味が特徴

鹿児島県産などが1月から出回る。生鮮未熟品は個別

未熟な豆がグリーンピース。成熟するとエンドウ豆

古代エジプトや古代ギリシャで食べられていたよ

8～10世紀ころにインドや中国への平安時代には伝播(でんぱ)。辞書『和名抄(わみょうしやう)』野豆(のまめ)と名付(なづか)ひ(のらまめ)として紹介



シジミとセリのペンネ



◆ 材料 (2人分) ◆

ペンネ100g
 セリ1束
 オリーブ油大さじ2
 ニンニク1片
 シジミ200g
 水2と1/2カップ
 塩・こしょう適宜

◆ 作り方 ◆

- 鍋にオリーブ油とつぶしたニンニクを入れ熱し、ニンニクの香りが立ったらシジミと水を入れ強火にかける。
- 途中あくを取りながら4分の1ほどに煮詰める。
- 鍋に塩を入れて沸かし、ペンネをゆでる。
- ゆで上がったペンネを②に入れ、シジミのだしをしっかりと吸わせ、長めに切ったセリを入れ、塩・こしょうで味を調え出来上がり。

畑の様子 (揚げ焼き野菜の温サラダ)



◆ 材料 (2人分) ◆

アスパラガス2本
 ニンジン1本
 スプラウト適宜
 松の実適宜
 煮詰めたバルサミコ適宜
 岩塩適宜
 小麦粉適宜
 オリーブ油大さじ3

◆ 作り方 ◆

- ニンジン、アスパラガスはスティック状に切り、小麦粉をはたいておく。
- フライパンにオリーブ油を入れ熱し、①をじっくりと揚げ焼きして火を通す。
- 平皿に②を盛り付け、煮詰めたバルサミコで線を描き、岩塩を振り、松の実、スプラウトを散らし畑の様子を表現する。

アドバイス

パーティーなどにいかがでしょうか?ニンジンやアスパラガスは、他の畑の野菜に変えてもOKです。いろいろな味、香り、色を楽しんでください。

✿ 献立を監修した人 ✿ 茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」オーナーシェフ 永井 智一(ながいともかず)

編集後記

- ・ 新年を迎えてから早くも一か月が経ちました。玉ねぎの播種に向けてハウスの準備等もスタートし、今年の営農も徐々に始まってきましたね。久しぶりに身体を動かし、ちょっとした気の緩みでケガをしてしまうこともありますので、十分に気を付けて作業をしてください。
- ・ 今年度は例年にない雪不足で、北海道内各地で雪にまつわるイベントやスポーツ大会が中止や縮小に追い込まれています。農業も気候変動に負けないよう日頃の対策と準備をしていきましょう。

(菊池 光祐)

JAきたみらい概要

(令和2年1月20日現在)

- ・ 組合員数(正) 1,650人
- ・ 組合員数(准) 6,322人
- ・ 組合員戸数(正) 958戸
- ・ 貯 金 112,626百万円
- ・ 貸 出 金 10,248百万円
- ・ 出 資 金 4,989百万円